地域ぐるみの追い払い活動によるサルの被害防止対策

(愛媛県松山市実川地区)

- 〇 サルの農作物被害に悩む地元農業者等が協力し、地区で住民が主体的に取り組む鳥獣被害防止計画を作成
- ○関係機関が連携し、サルの被害防止対策を行うための地区組織を立ち上げ
- 地域ぐるみで、狩猟者との連携、モンキードッグの活用、動物駆逐用煙火によるサルの追い払い活動を実施
- 〇 住民が主体となった、継続的な被害防止活動を推進
- 2年間でサルによる被害はブドウで68%、モモで76%減少(松山市全体)

取組内容

- 市役所、大学、農協、猟友会等の関係団体が参画し、実川地区 を主体とした鳥獣対策の検討会等を開催
- 〇 地区内に調査カメラを設置し、鳥獣の生息状況を調査





○ 検討会等での意見や調査結果等をもとに、地区独自の取組計画を策定。地区の実情にあった鳥獣対策の取組を実施。狩猟者との連携、モンキードッグの活用及び動物駆逐用煙火の使用による地域ぐるみの追い払い活動ができる体制を構築





成果

- 地域ぐるみの熱心な取組により、地区全 体の鳥獣被害防止に対する意識が醸成
- 日々の継続した追い払い活動により、サ ルによるブドウやモモの被害が大きく減少

農作物別被害額(H29~H30年度):松山市



今後の取組

○ 追い払い活動を継続支援するとともに、新 たにサル被害のある地区へ活動を展開

地域ぐるみの追い払い活動によるサルの被害防止対策(愛媛県松山市実川地区)

きっかけ・背景

- 〇 イノシシの出没に加え、 近年、地区内へのサルの 出没が増加
- 地区の主要農産物であるブドウやモモのサル被害が深刻化

課題

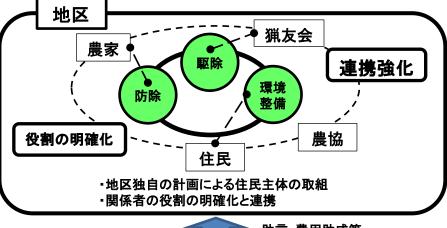
- サル被害の防止には、追 い払い活動など、対策に 多くの人手が必要
- 継続して活動していくた めにも、地区住民から広 く協力を得ることが必要

Step1 対策検討会の開催 (H29~)

- 市、大学、農協、猟友会等の 関係団体が参画し、地区主 体の対策検討会を開催
- 営農・荒廃状況や鳥獣による 農作物被害の状況、防護柵 の設置状況等を反映した地 図を作成。地区内の現状を確 認し、対策を検討

Step2 集落版被害防止計画の策定

- カメラによる生息状況の調査結果や対 策検討会での意見を踏まえ、地区独自 の鳥獣被害防止計画を策定
- 〇 地区住民が協力し、地区の実情にあった鳥獣被害防止対策を実施



助言•費用助成等

市•大学

サルの出没は年々増加していることから、県が実施するGPSを活用したサルの生息状況調査等を要望し、更に効果的なサル対策を検討

Step3 地域ぐるみの追い払い活動 (H30~)

- 策定した地区独自の鳥獣被害防止計画 をもとに、狩猟者との連携、モンキードッ グの活用、動物駆逐用煙火の使用によ る地域ぐるみの追い払い活動を実施
- 市は動物駆逐用煙火の購入費等、活動 に必要な経費を補助

取組の特色

- 〇地区主体の対策検討会、報告会の開催やサル対策に関するアンケート調査等により、地域ぐるみの活動による対策の取組や成果を知って もらうことで、地区住民の被害防止意識を醸成
- サルの被害防止対策を行うための地区組織を立ち上げ。個人ではなく、地区住民が地域ぐるみで対策を実施し、関係機関と連携して取り 組む体制を整備
- サルの追い払い活動を効果的に行うため、地区内で銃猟者を含めた 狩猟者を育成

取組による成果・効果

- 対策検討会の開催や追い払い活動等、地域ぐるみの熱心な取組により、地区内で広く鳥獣被害防止に対する意識が醸成され、その結果、 活動への新たな賛同者が増加
- 地区住民の協力により、追い払い活動の仕組みが整えられ、日々の 継続した活動により、サルによるブドウやモモの被害が大きく減少